

④ 節電にご理解ご協力を

東日本大震災の影響による最近のエネルギー動向から、九州でもエネルギー需給が逼迫することが予想されています。これに対し、本学では例年以上の節電対策に取り組んでおり、図書館でも、快適な利用環境をできる限り維持しつつ対策を実施していきますので、利用者みなさまのご理解ご協力を願っています。

★節電対策の一環として、中央図書館では「うちわ」を貸し出しています★

④ 女性や家族をテーマとした図書のコーナーを設けました

国立女性教育会館の所蔵する図書をパッケージで定期的に借り受け、中央図書館2階情報サロン奥のコーナーに配架しています。「男女共同参画」や「女性労働問題」「女性のキャリア形成」「家族問題」など、さまざまなテーマの図書を、各回約200冊、3カ月毎に入れ替えています。貸出はできませんが、ぜひ手にとってご覧ください。



④ 教材開発センターを設置

平成23年4月1日付けで、附属図書館に教材開発センターが設置されました。教材開発センターは、九州大学の教員が教材を作成する際に必要となる様々な支援を行うとともに、センター独自でも高品質な教材の企画・設計・制作を行います。また、それらの成果を蓄積し、広く公開することで、九州大学の教育の質をさらに向上させ、社会全体の学習環境の改善に貢献することを目指します。

【お問合せ】附属図書館図書館企画課企画係 e-mail:office@icer.kyushu-u.ac.jp

ご存知ですか?ILLサービス

ILL(Inter Library Loan、図書館間相互協力)とは、最寄りの図書館にない資料を他の図書館から取り寄せることができるサービス(有料)です。

- ・他機関からの図書の取り寄せ
- ・他機関からの論文のコピー(文献複写)の取り寄せ
- ・学内他キャンパス図書館からの文献複写の取り寄せ

海外(英国図書館、OCLCほか)からの取り寄せもできますのでご相談ください。

図書は往復の送料、文献複写はコピー料金(1枚35~60円程度)+送料が料金の目安です。筑紫図書館は公費による支払いのみ対応しています。

依頼方法

「きゅうとMyLibrary」(PC版)または図書館ウェブサイトの「申し込み・照会」から学生ID(教職員の方はSSO-KID)でログインしてお申し込みください。雑誌論文等の場合は、各種文献検索データベースの「きゅうとLinQ」から申し込むと、論文タイトル等が申し込みフォームに取り込まれ、入力の手間を省けます。各図書館の窓口にある申込書でも受け付けています(医学図書館を除く)。

学内他キャンパス図書館からの文献複写私費(現金払い)サービス開始!

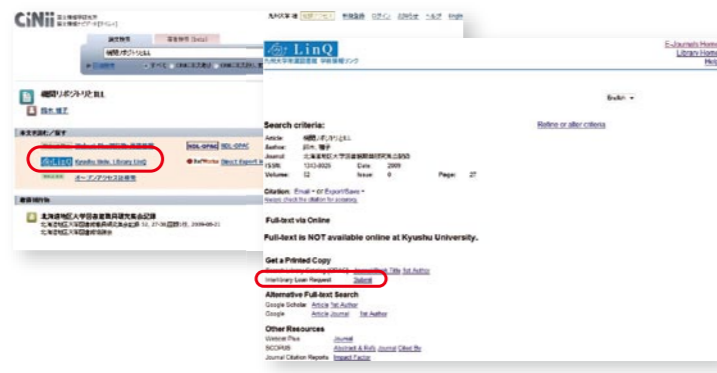
これまで公費のみでしたが、平成23年6月より、私費でもお申し込みいただけるようになりました。学生みなさんもぜひご利用ください!

【受付館】中央図書館・医学図書館・芸術工学図書館・伊都図書館

【料 金】モノクロ 20円 カラー 80円



図書館ウェブサイトから



きゅうとLinQから(Cinii検索結果からの例)

申し込みから5~10日前後で届きます。到着したらメールまたは電話(申込時に指定)でお知らせします。その他詳細は各図書館の窓口でお尋ねください。

iPadでも!

使える電子ブックが続々と!

図書館が提供する、電子ブックを使ったことがありますか? 使い方が難しい? 有料? そんなことはありません。調べ物に便利なレファレンス・ブック、教科書など、豊富な電子ブックにアクセス可能です。

電子ブックを読むには?

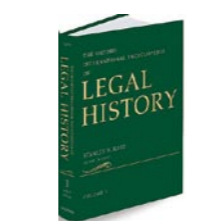
- どんな電子ブックがあるか探す → 「E-Journals」 → 「eブックのみ」タブ 「E-books Only」タブ
- コレクション単位で探す → 図書館ホームページの「検索ツール」からアクセス
- きゅうとOPACからアクセス → 検索結果に「電子ブック」リンクがあればクリック



「化学大辞典」共立出版社 化学分野の必須参考書



「国史大辞典」Web 日本史ならこの辞典 ※同時アクセス数1



The Oxford International Encyclopedia of Legal History オックスフォード法制史 国際百科事典



International Encyclopedia of Education 国際教育百科事典



Wiley International Encyclopedia of Marketing マーケティング 国際百科事典



KSI(韓国学術情報)e-book 法学・政治学・行政学分野のe-book(韓国語)



DOODY'S Core Titles 医学・看護学・保健分野の必須の参考図書

iPad貸出サービス試行はじめました(中央図書館)

中央図書館ではiPadの館内貸出サービスの試行をしています。手軽なネット端末として、電子ブックリーダーとして、使い方は自由! どんなものかちょっと触ってみたいという方も、ぜひお試しください。

【貸出方法】学生証(職員証)を持ってカウンターにお越しください。 ※館内利用のみです。当日中にご返却ください。 使用後に簡単なアンケートを実施していますのでご協力ください。

【試行期間】6月1日~12月27日
【お問合せ】中央図書館サービス企画係
tel: 092-642-2533
e-mail: circ2@lib.kyushu-u.ac.jp



図書館員のおしゃべりコラム

私は、5年間カナダのバンクーバーに住んでいました。カナダは、多くの移民を受け入れている多民族国家で「人種のモザイク」と呼ばれています。複数の文化が混じり合って新たな一つの文化を形成する「人種のつぼみ」とは違い、それぞれの文化を保ちながら共存する多文化主義を国の政策として推進しています。民族や人種の豊かな多様性を認め、尊重し合う。そんなバンクーバーの街では、いろんな国の言葉が飛び交い、本場の各国料理が日常で楽しめます。同じ国出身の人とは、その国の言葉で話し、違う国出身の人とは共用語の英語で話します。また、インドのカレー、中国の飲茶、ベトナムのフォー麺、ギリシャのスヴラキ、メキシコのタコスなど、その国出身のシェフが作り、他の国出身のお客が食べる。個々の色はそのままに、並べて置いて作り出すカラフルなモザイクのタイルアートのような街です。今の職場、図書館のカウンターにいても、多くの留学生を見かけます。留学生も安心して利用できるモザイクな図書館作りを努めていきたいと思っています。

(中央図書館 Y.K.)



Expose Yourself to the World!

CONTENTS

- つなぐ「気軽な一歩が海外の扉を開く!」 経済学部4年 古賀 嵩
- 資料紹介「留学に役立つおすすめの1冊」
- 「未来へつなぐ九大の知」
- NEWS
- ご存知ですか?ILLサービス
- 使える電子ブックが続々と!
- 図書館員のおしゃべりコラム

発行:九州大学附属図書館
TEL:092-642-2533
URL: http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/



持ち帰り禁止です



気軽な一歩が海外の扉を開く！

経済学部4年 古賀 高

現在中央図書館では、毎週金曜日に九州大学国際部協賛学生プロジェクト「留学・海外インターンシップランチアワー」を開催中です。今回は当プロジェクトの発案者古賀さんが、ご自身の留学体験について書いていただきました。

「好奇心があれば、自分の世界が広がる」

私は高校生から「様々な世界を見てみたい!」という想いから経済学部に入學しました。そして、留学では自分の想いを叶える貴重な体験を沢山することができました。

留学中には日本料理教室の開催、新聞記者研修活動、タイ国九大同窓会の設立補助に挑戦しました。ただし、これらは最初から計画して行ったものではなく、自分にとって馴染みがないものに関心を持って関わりを持ったことがきっかけとなりました。

最初の始まりは、福岡のNPOに足を運んだことでした。そこで出会った講師とタイで再会した時に、JICA職員など様々な方を紹介して頂きました。そして、その紹介して下さった方がまた別の方を紹介する。こういった形で、多くの人と出会うことができました。その中で、料理教室や同窓会の開催に関するアイデアが浮かび、小腹を入れて取り組み始めました。さらに、開催の企画を行っていくうちに新聞記者インターンの募集を知り挑戦することになりました。

留学後は留学時代に築いた縁を最大限活用して、公的機関が後援についたクラブイベントを開催しました。今後は今まで関わってきた人たちの助けを借りながら北京大学に留学して活動したいです。私は自分で何かを掴むクセをつけることが成功へのカギだと実感しました。

「留学とは自分を知ること」

留学中に一番学んだことは自分自身に対する理解です。タイと日本の文化の違いに気づいたとき、自分自身の考え方ややり方が「当たり前」だと思い込んでいる自分を発見しました。そして、その考え方に気付くと外の世界に対する寛容な気持ちが生まれて親しい交流ができるようになりました。



ランチアワー、盛り上がってます



留学先で開催した日本料理教室(写真一番右が古賀さん)

「留学準備は海外への気持ちを維持すること」

留学の準備に必要なことはモチベーションを維持し続けることだと思っています。海外の経験がなくても大学生生活は完結できる為に、私は国内の活動に傾きがちになって気持ちが停滞する時期もありました。そこで、私は大学の図書館で留学経験者に相談したり、留学希望仲間と共に単語を覚えたり。さらに、留学希望先大学の資料や海外の雑誌等を眺めて海外への気持ちを膨らませ続けました。その結果、継続的に取り組む必要がある単語学習やリスニングに対するモチベーションを保ち続けることができました。

以上のように、留学とは様々な人と関わり合いながら自分の世界を広げることができる良いきっかけです。なお、九大中央図書館では学生が運営している留学について雑談するランチアワーが行われています。まずは、そのような場所で気軽に留学について話を聞いてみては如何でしょうか。

九州大学国際部協賛の学生プロジェクト「留学・海外インターンシップランチアワー」

中央図書館リフレッシュルームにて 毎週金曜 12:00-12:50開催中

「留学って興味あるけど、なにからはじめていいかわからない…」そんな思いに留学経験者が応えます。一緒にお弁当を食べながら留学や海外でのインターンシップについて雑談しましょう(お弁当は各自持参ください)。お気軽にご参加ください。



Twitter(@lunchhour1)でも情報発信中!



留学に役立つおすすめの1冊

～学内の留学経験者に紹介してもらいました～

留学してみよう、海外にでてみようと思えた本

『深夜特急』1～6巻
沢木耕太郎著
新潮社、1994

『何でも見てやろう』
小田実著
講談社、1979

『サイエンティストを目指す大学院留学:アメリカの博士課程で学ぶ最先端のサイエンス・テクノロジー』
生田哲著
アルク、1995

本を読んで世界を知って、実際に触れてみるのはアリだと思います。留学に行ってみたくる本です!(理学部・修士1年・留学先:オーストリア)

『流学日記:20の国を流れたハタチの学生』
岩本悠著
幻冬舎、2006

『The Great Gatsby』
F.Scott Fitzgerald
Simon & Schuster, 1995

★翻訳本もあります!『グレート・ギャツビー』
村上春樹訳 中央公論新社、2006

留学前に読んで参考になった本

『アメリカ50州を読む地図』
浅井信雄著
新潮社、1994

『留学生必携!アメリカ留学まるごとガイド』改訂版
柴陽子著
三修社、2004

『考える・まとめる・表現する:アメリカ式「主張の技術」』
大庭コテイさち子著
NTT 出版、2009

『クーリエ・ジャポン COURRIER Japon』
講談社(雑誌)

他にもこんな推薦がありました

語学学習に役立つ本
●『松本亨・英作全集』(全10巻)
松本亨著、バイインターナショナル、2000
(図書館職員)

この全10巻2000問の英文文をやりとけたなら、相当な実力が付いているでしょう。

●(雑誌)『中国語ジャーナル』アルク
(経済学部・4年・留学先:中国)

両雑誌とも中国に関する最新の話題が中国語で書かれており、ピンインもふつてあるので、語学勉強に最適です。

●(雑誌)『聴く中国語』日中通信社(同上)



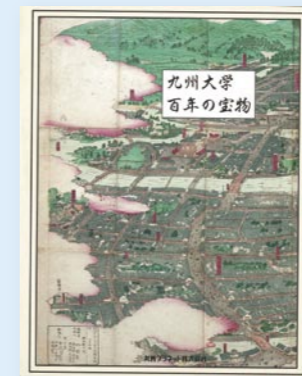
語学学習に役立つ本、図書館にそろってます!

上記で紹介されている本は、図書館に所蔵しています。



これまでの百年、これからの百年 — 『九州大学百年の宝物』の発刊

竹村 則行(人文科学研究院教授)



『九州大学百年の宝物』九州大学百年の宝物刊行委員会編(丸善プラネット、2011)

このほど発刊された『九州大学百年の宝物』(写真左)は、九大創立百周年を記念して、附属図書館や各部署が長年にわたって蒐集してきた貴重文物のうちから百点を厳選し、66名の執筆陣による簡潔な説明と鮮明な図像とで紹介したものです。多数のカラー写真をちりばめた本書は見た目美しく、頁をめくれば思わず時を忘れず。関心があれば個別ホームページやデータベースでの探索も可能です。

多岐にわたるその内容をキーワードで示せば、太古の地球(鉱物・化石)／生命の神秘(動植物・魚類・骨格・昆虫)／科学技術(イネ・カイコ・生薬・古医書・カルテ・鉱山精練・工作機械・船舶造船・建築・椅子)／古書の英知(トマス・ペラ・クンケル・ルートマール・筑紫・桑木・漢籍・濱・萩野・音無・支子・戯作・読本・雅俗)／郷土文化(仙居・碩水・益田・玉泉館・来島・地方・長崎・博多・江島・檜垣・麻生・三池・杵島・高島・筑豊)／百年の歴史(構内の建築群・フィルハーモニー・郭沫若・工学部壁画・大森・旧制福岡)等です(一部文庫名等を省略)。これらはほんの一部に過



アジア産シロチョウ科のホロタイプ標本の一部(矢田脩名誉教授撮影、アジア産昆虫標本より)

京劇の幻の名著 半世紀ぶりに刊行 — 濱一衛著訳『中国の戯劇・京劇選』

中里見 敬(言語文化研究院准教授)



『中国の戯劇・京劇選』濱一衛 著訳、中里見敬 整理(花書院、2011)

九州大学附属図書館には、元本学教授で中国演劇研究者の濱一衛(1909~1984)が1934~36年の北京留学中に収集した資料からなる演文庫というコレクションがあります。私が書架の片隅に執筆後半世紀あまりも眠っていた濱先生の未刊原稿を手にしたのは、演文庫の展示会を担当した一昨年のごでした。

京劇の台本四種を翻訳した「京劇選」を読んで、その格調高い日本語に惹きつけられました。「霸王別姫」のように有名な歴史劇だけでなく、京劇の「とりすましたところがない」(本書319頁)大衆的なおもしろさを堪能できる「打漁殺家」を入れるなど、硬軟取り合わせた4作品の選択の妙は見事というほかありません。京劇のきまりごとや俳優たちの逸話を懇切に説いた「中国の戯劇」を読むと、根っからの芝居好きだった濱先生に、京劇の見方を手ほどきしてもらっているような気分になります。伝統芸能はなかなか取っつきにくいものですが、濱先生の飄逸な語り口によって、私たちはすんなりと京劇の世界に入っていくことができます。

演文庫受け入れに尽力された合山宛名誉教授によると、資料評価を

きません。いま九大の各部局に珍藏されるこれらの宝物群は、百年の歴史を静かに物語ります。

人には誰も親や先祖があるように、大学も先人が営々として築いてきた伝統があって今日があります。九大の先人が百年にわたって蓄積した宝物はその象徴です。時あたかも新キャンパス移転の最中、我々は過去の遺産を確かに将来に継承し、活用してこそ未来の発展があります。九州大学百年の無尽蔵の宝物群は皆さんの再評価を待っています。

九大のこれからの百年はこれまでの百年の延長上にあることを、現在九大に学ぶ私たちは忘れてはいけません。そのためににも『九州大学百年の宝物』を一読されることをお勧めします。

担当された東京大学の田仲一成教授(当時)が濱先生のご自宅を訪問された際、遺されていた原稿やノート類を見て是非とも文庫にいれましょうと言われたために、追加で保存することに決定したとのこと。濱先生の幻の原稿が散佚することなく今日まで残されたのには、関係者の見識と図書館のご理解があったことに改めて敬意を表したいと思います。



演文庫の戯草(芝居番付)より濱先生お気に入りの一枚(1936年10月20日、広和楼、木活字版)[演文庫/集181/4]「只今では活版が石版刷りですが、以前は木活の風雅なもので、つい七八年前迄は広和楼の番付がそれで、愉快なものでした。」(濱一衛「支那芝居の話」(弘文堂書房、1944)170頁より)

※今回紹介した本は図書館に所蔵しています。